

明海大学暮らし報告書 7月

みなさんこんにちは、ユウです。暮らし報告書を書かせていただくのは久しぶりです。報告書といっても、大したものではありません。ただマンネリしている日常の中に起きた出来事を思い出として記しているだけ。過度な期待をなさらないようお願いいたします。

さてこの一か月間にもいろいろありましたけど、一番印象に残ってしまったのはやはりバイトと旅行の二つです、バイトのほうはもう前よりずっとうまくやれるようになりましてけど、麺上げだけはどうしてもうまくいかなくて、店がすいてるときはまだしも、人が多いと本当に頭ん中真っ白になってしまって麺のゆでる時間もうまく考えられませんでした。幸のことに、仲間たちはいつもみじゅくのじぶんをフォロー

してくれて、今考えてみればみんなは本当にすごく優しかった。

バイとは七月下旬に終わったけど、友たちの景山さんがほかのメンバーを集めて、居酒屋でチャーウェー飲み会って名前の送別会をやってくれました。みんなで一緒におしゃべりしてお酒とかおつまみをどんどんイに収めていく中、自分はなんか急にたまらなくなっていて、なんかこの半年はまるで夢のようだった気がしてきた。毎日学校終わったら帰ることもできず、一時間以上の電車で揺られ、浅草橋へ向かう、駅から浅草の店まで歩く半時間。五、六時間の仕事が終わったらもう夜十一時、手続きを済ませ、着替えしまた歩く半時間、家に着いたら往々にして深夜一時、こんな生活、半年もやってきたことに自分も驚きました。今思い返すと、ぜんぶかけがえのないおもいでだったけど、夜の浅草の道でかすかに見える星を見上げたこと。バイ

トがえりに自分へのご褒美に安物のアイスを買って食べたこと。そのすべてが一生忘れられない思い出だった。七月下旬、台湾から友たちがきた、二週間ほど滞在するつも璃、その半分以上は京都だった、でも最後の三日は東京に来て、そのままうちに泊まる、で、東京でいろいろ回りました、青梅鉄道公園（三度目）大宮鉄道博物館（二度目）江の島（五度目）秋葉原（週に三回以上）とかもちゃんと堪能しました。なんか高校の友たちと回るってことは不思議なことに思えてくる。高校時代の私たちだったらさぞ思いもよらないでしょうね。





七月には、もう一つ大きなイベントがあります。それはワンダーフェスティバル夏、でも今年はやっぱなにも完成させられなかったため、やめようと思ったけど、台湾の先生と昔の仲間が、今年に参加しに来るから、通訳よろしくってメッセージが来たので、せっかく来るんだから、それにいいチャンスにもなるだろうしと思ってやはり参加しました。三度目のワンフェスだけど、やはり異論の作品が見れて面白かった。通訳やっいていろいろな方とも友たちになっし、いろいろな意味では参加してよかったて感じ。七月はやっぱ大半の時間はバイトに費やしましたが、それでもちゃんと遊んだきがする。もう一か月しか東京にいられなくなるのを思うと時間の速さがどんなに恐ろしいものだと再認識させました。今度が最後の暮らし報告書になるけれど、それでもよろしくお願いいたします。

